

インフルエンザの季節

FLU
SEASON

当院のインフルエンザ治療は重症化しやすい患者さんを対象としています。

・高齢者 ・小児 ・慢性疾患治療中 ・免疫不全者 など

< 診断 >



発症からの時間が短い場合（特に12-24時間以内）、検査キットは役に立たない場合があります。流行状況にあわせて、検査を行わずに症状などから診断する場合があります。重症化しやすい患者さん以外は、繰り返しの検査は不要です。インフルエンザと診断後も、症状が長引く場合はご連絡を。

< 治療 >



重症化しやすい患者さんへの抗インフルエンザ薬投与を推奨していますが、そうでない患者さんへの投与は推奨していません。2001年にタミフル®が発売される前は抗インフルエンザ薬はほとんどなく、多くのインフルエンザは対症療法（解熱薬など）で自然に治る病気と考えられています。耐性ウイルス発現のリスクを考慮して、今年度当院では新規抗インフルエンザ薬（ゾフルーザ®）を採用していません。

< 拡散防止 >



症状が出る1日前からウイルスは他の人にうつります。鼻や喉についたウイルスを、咳やくしゃみ、あるいは手などで広げてしまいます。インフルエンザにかかったら、他の方（特に重症化しやすい患者さん）にうつさないように、マスクや手洗いなどをしっかり行い、不要な外出は控えましょう。